

平成28年度 第2回 協働講座「外国人住民と一緒に取り組む地域課題」アンケート回答

性別	年代	講座の感想		今後の活用方法	協働の課題	再参加のニーズ	
		満足度	自由意見			有無	希望内容
男	70代	良かった	現実的問題点を話し合うことが出来た。	日常での外国人との交流に活かせる	交流会で出た意見をフィードバックし、市と市民の話し合いを進めた方が良い。		
男	70代	まあまあ良かった		外国人共生の問題意識を持ったこと	これから人口減少社会の中で、どのようにして問題を共有理解できるか。	参加したい	今回のテーマであれば。(既在住外国人を囲んでのトーク、問題点。
男	70代	良かった	外国人が抱えている課題のいくつかがわかった。	外国人への対応の仕方に工夫をしたいと思います。	市の公共施設の利用のPR。(図書館、スポーツセンター、いこいの家、公民館、ころころの森)	参加したい	外国人を中心としたゴミの分別講習会、救急・警察への連絡の取り方講習会。
男	70代	良かった		日本のルールを遠慮せずはっきり言って欲しいとの話。地球市民クラブの活動が良く分かった。	積極的接触する必要があると感じる。		
男	70代	良かった	東村山市地球市民クラブが外国人住民が市民としてより良い生活環境・文化交流に努力されていることに感銘を受けました。	言語、文化の違いで意思の疎通がスムーズに行えるか心配な面がありますが、機会があれば、参加したいと思います。	イベントの機会に外国人の参加を取り入れて市全体にPRし、住民に知らしめて融合を図ってほしい。	内容によっては参加したい	市内ボランティアに積極的参加を外国人にPRして市民活動参加をうながしてほしい。
男	70代	良かった	地球市民クラブが多くの企画を実施され、地域に根付いて来ていると感じました。グループワークでは中国出身の方に本音の声が聞けました。	地域で実施しているイベント(自治会主催の運動会、防災訓練、夕涼み会等)に外国人の方々に積極的に参加を呼びかけたいと思います。	協働の企画(本件を含めて)を多く実施されている割に市民の参加、認識が不十分であり、何よりPR活動の重要性を感じます。	参加したい	自治会活動の活性化について(グループワーク)
男	70代	良かった	現状がかなりわかった。また、グループワークでの話し合いの中で、より深まった。	地元(自治会)での活用が期待できる。参考になった。	市のタテ割り行政の是正につきますと思います。		
男	70代	良かった	活動の内容がわかり、参考になった。	私どもの団体と一緒に出来ることがある様に感じた。	タテ割り行政のため	参加したい	他市の協働事例を聞いてみたい。
男	70代	良かった		外国人と市民の日常的な地域活動のはじまり。	言葉、相談、子ども、	参加したい	フリートークの時間をもっと多く。
女	50代	良かった	役所と市民が熱心に外国人住民と共生する問題を取り込むことがすごく良いことだと思います。地球市民クラブの今までの努力も感心します。		外国人により日本で生活しやすいように、日本の社会のマナー・ルールなど積極的に教えたほうが良いですね。		
女	50代	良かった	地球市民クラブの活動や想いを具体的に知ることができた。	グループワークで出た課題やアイデアを活かしながら同時に活かせると思う。	グループワークをフィードバックする場があると更に深められると思います。	内容によっては参加したい	コミュニケーションのとり方
女	50代	まあまあ良かった	知らない情報が知れた。グループワークは参加者の意識が高いので成り立ったが、「地域課題」を出し、まとめていくには難しかったかな	地球市民クラブのことがわかり、良かったです。			
女	20代	良かった	いろんな日本人の意見を聞き取り、勉強になりました。多文化に関心する人が多いと知って関心です。	ヘイトと偏見	子育て。		
女	50代	良かった		外国籍の方の声を、日常に活かしたい。			
男	60代	良かった	国際交流の大切さ、特に生活レベルでの交流が必要で、流れができ、情報交換できることが大切だと思う。語学、文化の理解を通じることが発展していくことが大切だと思いました。	ボランティアを通じた、交流に役立つ。	情報交換の場を増やしてゆくこと		
男	60代	良かった	イメージであった外国人の悩みを直接聞けたことは良かったと思います。	自治会での対応をこれからの課題として意識していきたい。	コミュニケーションの機会を重ねることが最も重要と考えます。そのうえでその機会設定に努力していくことと思います。今回の機会をまた提案することで重ねていければと思います。		
女	40代	良かった		ボランティア活動を拡大したいです。			
女	60代	良かった					